



## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日  
上場取引所 東

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社  
コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寄本 晋輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983  
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	39,427	17.2	△1,052	—	△1,160	—	△897	—
2023年8月期第2四半期	33,629	28.8	505	136.9	485	165.2	159	—

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △870百万円 (—%) 2023年8月期第2四半期 106百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	△69.22	—
2023年8月期第2四半期	12.36	12.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	31,469	7,699	23.4
2023年8月期	27,675	8,834	30.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 7,378百万円 2023年8月期 8,485百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,370	6.9	△1,200	—	△1,420	—	△1,960	—	△150.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	13,532,950株	2023年8月期	13,427,550株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	506,579株	2023年8月期	497,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	12,963,442株	2023年8月期2Q	12,869,553株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業展開するリユース業界は、今後も継続的な成長が見込まれており、2022年のリユース市場規模は前年比7.4%増の2兆8,976億円となりました。また、2030年にはその市場規模は4兆円に到達すると見込まれております。(出所：株式会社リフォーム産業新聞社「リユース業界の市場規模推計2023(2022年版)」(2023年9月))

当社グループは、地球環境も含めた持続可能性を高め中長期的な競争優位性を確立することが必要不可欠であるという認識のもと、「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに設定し、2030年に「Circular Design Company」の実現を目指しております。

2025年8月期を最終年度とする中期経営計画「VG1000 ver2.0」においては、既存のCtoBtoBモデルのグローバル展開、グローバルも含めた小売の強化、顧客・パートナーとの関係強化によるリカーリング型ビジネスへの転換を戦略とし、事業を推進してまいります。なお、現中期経営計画の対象期間は、2026年8月期以降の飛躍に必要なあらゆる機能の実装・充実を進める投資期と位置付けておりますが、投資は行いつつも利益成長も遂げていく計画としております。

2024年8月期は、新規出店とWEBマーケティングによる仕入強化に加え、アライアンス戦略の拡大、リピーター拡大のためのCRM強化による仕入拡大に引き続き注力するほか、国内小売店舗の新規出店やtoB、toC同時出品の実現を中心としたtoC強化に加え、自動車事業の強化に取り組み、ブランド品以外の実物資産への領域拡大に注力いたします。また、海外においても仕入におけるWEBマーケティングの強化、グローバルEC構築による小売拡大等グローバルへの投資にも注力してまいります。

なお、既存のtoB領域においては、SaaS型新機能提供先の拡大、フルフィルメントサービスの強化等、オークションプラットフォーム充実に向けた新機能の実装や新サービス提供の検討も継続してまいります。

上記計画に基づいた事業活動の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	33,629	39,427	5,798	17.2%
営業利益又は営業損失(△)	505	△1,052	△1,557	-
経常利益又は経常損失(△)	485	△1,160	△1,645	-
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は四半期純損失(△)	159	△897	△1,056	-

当第2四半期連結累計期間における具体的な取組は以下のとおりです。

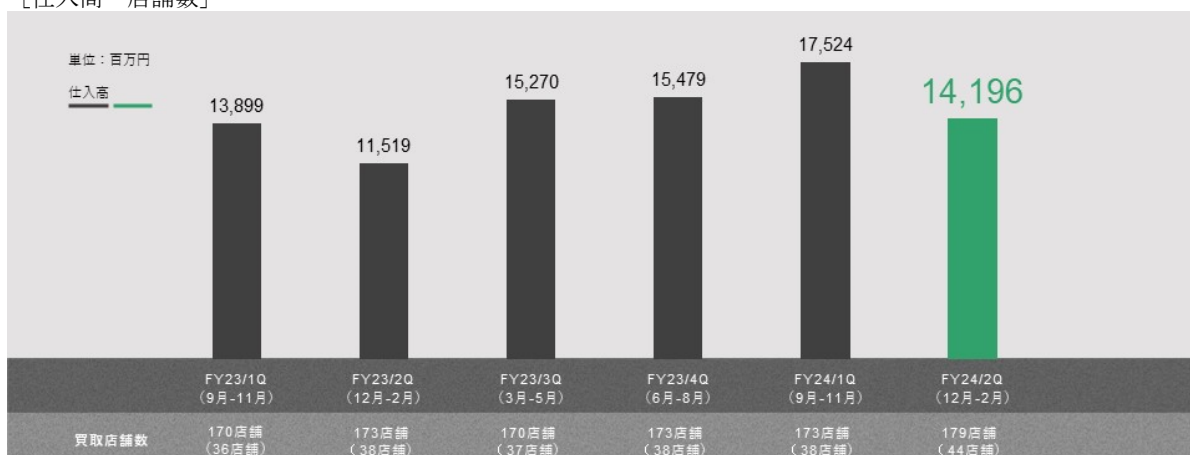
買取面においては、店頭買取を軸に、百貨店や金融機関をはじめとしたアライアンスによる買取強化にも引き続き注力いたしました。また、海外においても国内同様WEBマーケティングの強化を開始し、店舗網拡大との相乗効果による仕入拡大を企図しております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における仕入高は31,721百万円(前年同期比6,302百万円増、同24.8%増。株式会社米自動車の仕入高を除く。)となりました。

当第2四半期連結会計期間末の買取店舗数は、海外におけるパートナー店舗を中心とした出店により、国内135店舗、海外44店舗の合計179店舗となりました。

また、地金相場が引き続き好調であったことや、バッグを中心とした小売向けの商材を確保したことにより、当第2四半期連結会計期間における仕入高は14,196百万円(前年同期比2,677百万円増、同23.2%増。株式会社米自動車の仕入高を除く。)となりました。

仕入高・店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[仕入高・店舗数]



※ 株式会社米自動車の仕入高実績は除く。

※ 店舗数には海外店舗も含む。( )はそのうちの海外店舗数。

販売面においては、小売店舗の新規出店やインバウンド需要等により小売売上高が増加したことに加え、地金相場が引き続き高水準で推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は39,427百万円（前年同期比5,798百万円増、同17.2%増）となりました。

第1四半期連結会計期間は、自社オークションにおける海外パートナーの買い意欲の落ち込みや、ダイヤモンドの相場状況を鑑み香港拠点にて運営しているダイヤモンドオークション（SBA香港）を休会としたこと等により、自社オークション売上高は前年同期比で減少いたしました。当第2四半期連結会計期間においてはこれらの一過性要因から回復したものの、例年自社オークション売上高は季節要因により鈍化する傾向にあることから、当第2四半期連結累計期間の自社オークション売上高は18,074百万円（前年同期比647百万円減、同3.5%減）となりました。

また、SaaS型新機能の貢献等によりオークション委託は引き続き好調に推移したこともあり、当第2四半期連結累計期間の自社オークション手数料売上高は1,369百万円（前年同期比41百万円増、同3.1%増）となりました。

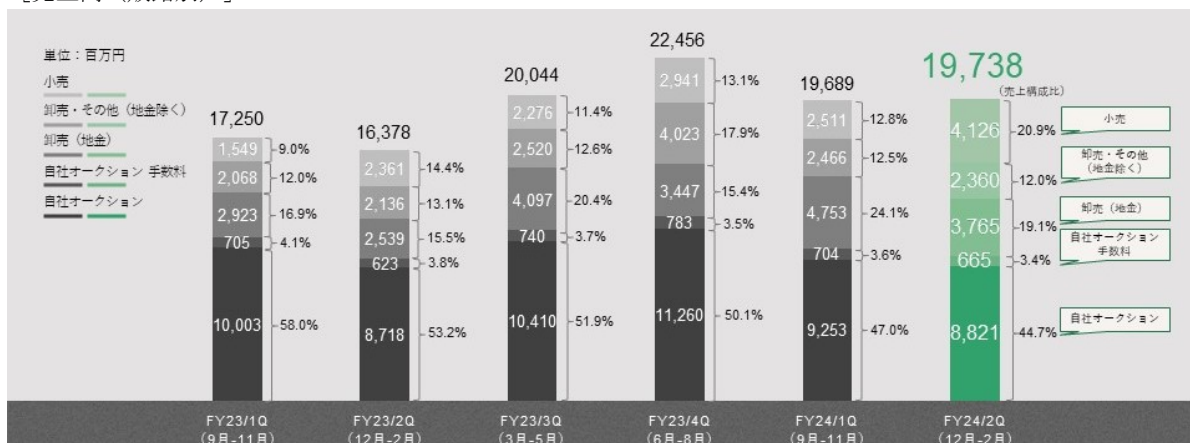
小売については、2023年12月に小売店舗として4店舗目となるALLU心齋橋ANNEXをオープンいたしました。インバウンド需要は引き続き旺盛であり、小売強化施策として小売で戦略的に在庫を販売したこと等により、当第2四半期連結累計期間の小売売上高は6,637百万円（前年同期比2,727百万円増、同69.7%増）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間の売上高は19,738百万円（前年同期比3,360百万円増、同20.5%増）となりました。当第2四半期連結会計期間においては、海外パートナーの買い意欲が回復するも、季節性も鑑み小売での販売に注力したこと等により、自社オークション売上高は8,821百万円（前年同期比103百万円増、同1.2%増）となりました。

なお、クリスマス・年末年始・春節等のハイシーズンでもあり戦略的に小売での販売を強化したことや、個人向けオークションである「ALLU AUCTION」も開催したこと等により、小売売上高は4,126百万円（前年同期比1,764百万円増、同74.7%増）となりました。

売上高（販路別）の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高（販路別）]



※ 株式会社社自動車の売上高は卸売・その他（地金除く）に含む。

当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間で落ち込んでいたアメリカを中心とした海外パートナーの買い意欲が回復したことにより、海外売上高は3,785百万円（前年同期比16百万円増、同0.4%増）、海外売上高比率は19.2%となりました。

売上高（国内・海外）の四半期推移につきましては以下のとおりです。

[売上高（国内・海外）]



当第2四半期連結累計期間における売上総利益率は22.4%（前年同期比4.6ポイント減）となりました。これは、仕入競争環境の激化に伴い仕入単価が上昇していることや、高価格帯商品の販売等により通常より小売の売上総利益率が低下したこと、地金売上高構成比が上昇したこと等によるものであります。

また、当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は9,893百万円（前年同期比1,314百万円増、同15.3%増）となりました。これは、人員配置の見直しや買取店舗の効率化などを行ったものの、5店舗目の小売店舗であるALLU新宿店（仮称）の地代家賃発生や、小売及び海外も含むWEBマーケティングの強化などの先行投資に係る費用が増加したことによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における営業損失は1,052百万円（前年同期比1,557百万円減）となりました。

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,400百万円増加し、21,628百万円となりました。この主な要因は、商品調達に伴い現金及び預金が965百万円減少したほか、商品が1,630百万円、未収消費税等が1,055百万円増加したこと等によるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,393百万円増加し、9,841百万円となりました。この主な要因は、小売店舗の出店等による有形固定資産の増加284百万円、システム開発に伴うソフトウェア及びソフトウェア仮勘定等の無形固定資産の増加187百万円、小売店舗の出店に係る差入保証金の発生や繰延税金資産の計上による投資その他の資産の増加922百万円等によるものであります。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて3,794百万円増加し、31,469百万円となりました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,240百万円減少し、13,581百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が1,200百万円減少したこと等によるものであります。固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,169百万円増加し、10,188百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が6,144百万円増加したこと等によるものであります。これらの結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4,929百万円増加し、23,770百万円となりました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,135百万円減少し、7,699百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払による減少及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が1,285百万円減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ965百万円減少し、7,368百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各区分のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、4,144百万円の支出（前年同期は383百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費548百万円による資金の増加があった一方で、税金等調整前四半期純損失1,169百万円や棚卸資産の増加額1,635百万円、未収消費税等の増加額1,020百万円、法人税等の支払額370百万円等による資金の減少があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,193百万円の支出（前年同期は1,290百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出320百万円、無形固定資産の取得による支出406百万円、差入保証金の差入による支出481百万円等による資金の減少があったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4,353百万円の収入（前年同期は1,739百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額387百万円や短期借入金の減少額1,200百万円、長期借入金の返済による支出355百万円等による資金の減少があった一方で、長期借入れによる収入6,500百万円等の資金の増加があったためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2024年8月期の連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年4月12日）公表いたしました「2024年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」及び「2024年8月期 第2四半期決算説明資料」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,336,308	7,370,456
売掛金	798,816	1,021,452
商品	7,633,221	9,264,208
未収消費税等	1,629,030	2,684,770
その他	1,192,390	1,771,136
貸倒引当金	△362,576	△483,997
流動資産合計	19,227,190	21,628,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,890,202	3,035,011
その他(純額)	916,692	1,056,013
有形固定資産合計	3,806,894	4,091,025
無形固定資産		
のれん	543,696	507,450
その他	1,549,577	1,772,939
無形固定資産合計	2,093,274	2,280,390
投資その他の資産		
関係会社株式	228,014	242,944
差入保証金	1,479,347	1,945,395
その他	840,794	1,281,962
貸倒引当金	△174	△195
投資その他の資産合計	2,547,981	3,470,107
固定資産合計	8,448,150	9,841,522
資産合計	27,675,341	31,469,550



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,345	328,335
短期借入金	11,101,376	9,900,800
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	711,667	711,296
未払法人税等	408,823	200,654
賞与引当金	316,640	334,522
資産除去債務	—	608
その他	1,690,390	1,905,674
流動負債合計	14,822,243	13,581,890
固定負債		
社債	700,000	600,000
長期借入金	2,295,605	8,440,168
資産除去債務	793,973	827,115
その他	229,252	321,153
固定負債合計	4,018,831	10,188,437
負債合計	18,841,074	23,770,327
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,219,780	1,295,404
資本剰余金	1,425,798	1,501,423
利益剰余金	6,331,587	5,046,294
自己株式	△668,432	△668,488
株主資本合計	8,308,733	7,174,634
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	177,264	203,887
その他の包括利益累計額合計	177,264	203,887
新株予約権	348,268	320,701
純資産合計	8,834,266	7,699,223
負債純資産合計	27,675,341	31,469,550

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	33,629,057	39,427,908
売上原価	24,544,308	30,586,591
売上総利益	9,084,749	8,841,317
販売費及び一般管理費	8,579,195	9,893,589
営業利益又は営業損失(△)	505,553	△1,052,271
営業外収益		
受取利息	213	466
持分法による投資利益	10,562	14,930
デリバティブ評価益	4,929	—
為替差益	—	23,323
その他	19,616	6,403
営業外収益合計	35,321	45,124
営業外費用		
支払利息	35,202	46,848
支払手数料	676	99,836
デリバティブ評価損	—	145
為替差損	12,192	—
その他	7,743	6,831
営業外費用合計	55,814	153,661
経常利益又は経常損失(△)	485,060	△1,160,808
特別利益		
固定資産売却益	—	1,535
特別利益合計	—	1,535
特別損失		
減損損失	140,650	10,409
事務所移転費用	9,892	—
特別損失合計	150,542	10,409
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	334,517	△1,169,682
法人税、住民税及び事業税	260,629	164,604
法人税等調整額	△85,170	△436,892
法人税等合計	175,458	△272,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	159,059	△897,394
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	159,059	△897,394

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	159,059	△897,394
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△52,134	26,622
その他の包括利益合計	△52,134	26,622
四半期包括利益	106,924	△870,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,924	△870,772

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	334,517	△1,169,682
減価償却費	457,377	548,999
のれん償却額	—	36,246
株式報酬費用	113,504	46,480
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48,113	120,612
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,872	17,565
受取利息及び受取配当金	△213	△466
支払利息	35,202	46,848
持分法による投資損益(△は益)	△10,562	△14,930
助成金収入	△9,290	△1,161
受取給付金	△2,041	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,535
減損損失	140,650	10,409
事務所移転費用	9,892	—
売上債権の増減額(△は増加)	192,578	△222,636
棚卸資産の増減額(△は増加)	△930,316	△1,635,648
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,477	△65,010
未払又は未収消費税等の増減額	458,696	△1,020,929
その他	198,549	△432,421
<b>小計</b>	<b>952,309</b>	<b>△3,737,260</b>
利息及び配当金の受取額	213	466
利息の支払額	△35,048	△44,871
助成金の受取額	9,290	1,161
給付金の受取額	2,041	—
移転費用の支払額	△8,829	—
法人税等の支払額	△536,914	△370,224
法人税等の還付額	—	5,918
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>383,063</b>	<b>△4,144,810</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△367,926	△320,084
無形固定資産の取得による支出	△328,455	△406,922
資産除去債務の履行による支出	△3,575	△1,469
差入保証金の差入による支出	△129,277	△481,856
差入保証金の回収による収入	10,391	14,878
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△471,550	—
その他	34	1,810
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,290,358</b>	<b>△1,193,645</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△300,000	△1,200,000
長期借入れによる収入	1,550,000	6,500,000
長期借入金の返済による支出	△107,549	△355,808
社債の発行による収入	1,000,000	—
社債の償還による支出	—	△100,000
株式の発行による収入	1,532	—
自己株式の取得による支出	△192	△55
配当金の支払額	△320,863	△387,544
その他	△83,820	△103,360
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,739,106</b>	<b>4,353,232</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54,676	19,323
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>777,135</b>	<b>△965,900</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,806,382	8,334,817
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>8,583,517</b>	<b>7,368,916</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。